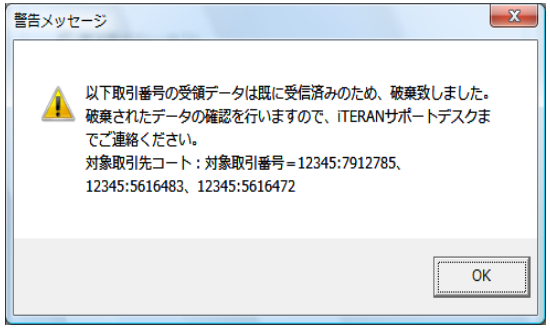
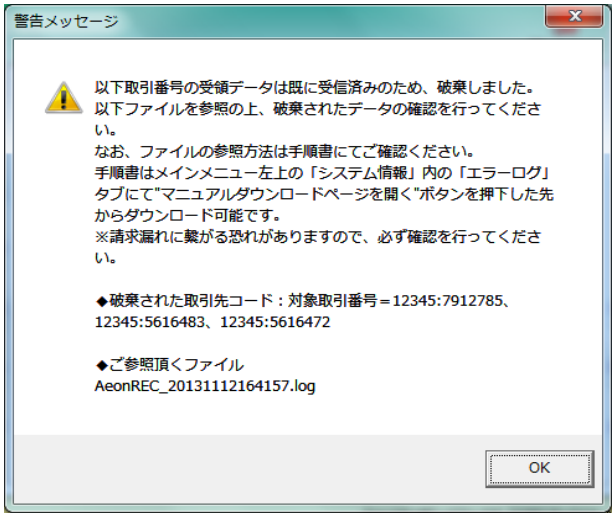
イオンBMS1.3で受領データ重複エラーが出た場合の対応方法 ver1.2

受領データ受信後、以下のような警告メッセージが表示された場合、手順1以降をご確認の上、ご対応をお願い致します。

☆警告メッセージサンプル（バージョン7.6.8以前）



☆警告メッセージサンプル（バージョン7.7.0以降）



手順1.ログファイル格納フォルダを開く

上記警告メッセージが表示された場合、エラー詳細が記載されたログファイルが作成されます。
ログファイルが格納されているフォルダは以下手順で開くことができます。

①iTERAN/AEバージョンの確認

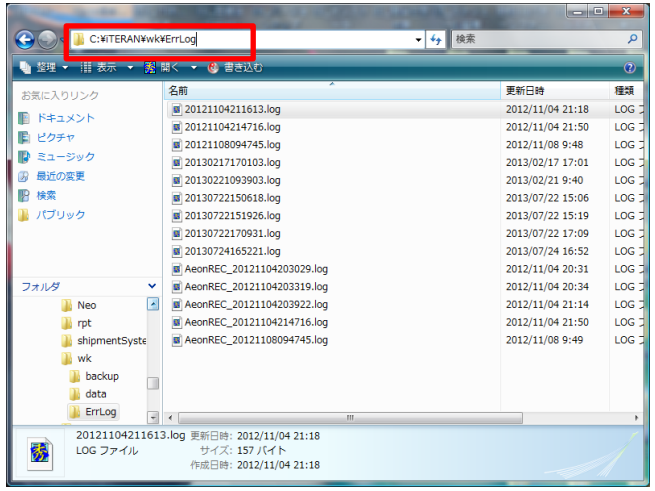
iTERAN/AEを起動し、TOP画面左上に表示されている数字を確認します。

確認します
※左記画面例では「7.6.7」になります

バージョンが「7.6.6」以下の場合は次ページの「②-A」にお進みください。
バージョンが「7.6.7」以上の場合は次ページの「②-B」にお進みください。

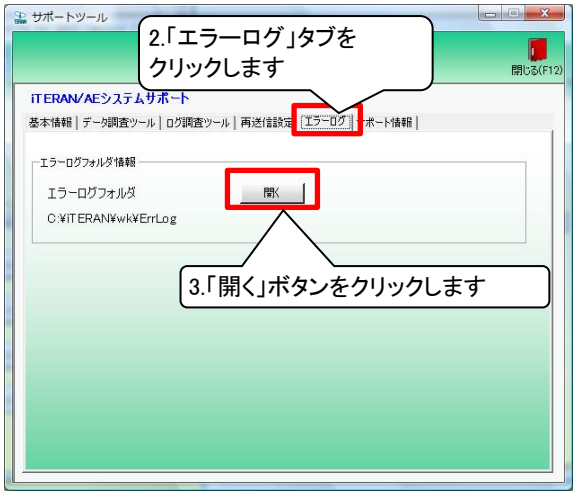
②–A.バージョンが「7.6.6」以下の場合、エクスプローラで以下フォルダを開き、手順2へお進みください。
※サポートサイト（左記URL）から最新バージョンにバージョンアップすることで、バージョン「7.6.7」と同じ手順で開くことができるようになります。

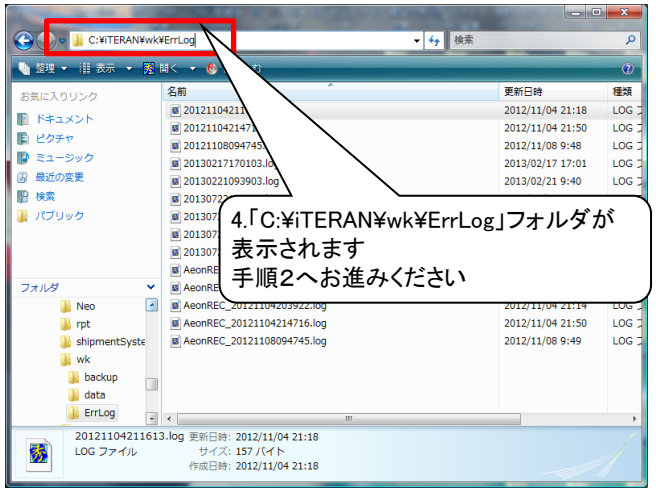
C:¥iTERAN¥wk¥ErrLog



☆iTERANサポートサイト　ダウンロードページ
http://www.iteran.jp/AE/download.html

②–B.バージョンが「7.6.7」以上の場合、エクスプローラで直接「C:¥iTERAN¥wk¥ErrLog」を開いても問題ありませんが、iTERAN/AEの画面からフォルダを開くことができます。
フォルダが表示された後は手順2へお進みください。





手順2.ログファイルを開く

①手順1で表示したフォルダ内に「AeonREC_」から始まるファイルがあることを確認します。

②「AeonREC_」から始まるファイルが1つの場合はそのファイルをテキスト等で開きます。
複数ある場合は、以下を参照して最新のファイルを開きます。

「AeonREC_」に続く数字はファイルが作成された「年月日時分秒」になっています。
最新の「年月日時分秒」となっているファイルを開きます。

例1）2013年9月1日10時15分35秒に作成されたファイルの場合

AeonREC_20130901101535.log

例2）2013年12月1日0時37分12秒に作成されたファイルの場合

AeonREC_20131201003712.log

手順3.ログファイルの内容を確認する

以下をご確認の上、ログファイルを確認します。

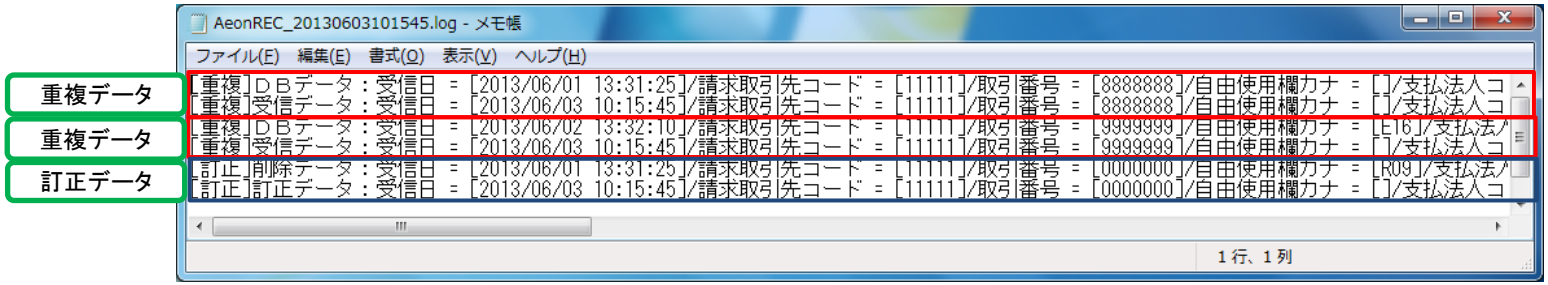
■ログファイルの見方について

・ログファイル構成

受領データが重複した場合、以下の構成で出力されます。
※重複した1データにつき2行出力されます。
※先頭が[訂正]となっているものは、受領訂正データとしてiTERANに格納されているので問題ありません。

DBデータ　：受信前に既にiTERAN内に格納されているデータ（受信済のデータ）
受信データ　：今回受信したデータ

☆ログファイル出力例：受信した2データが重複データ、1データが訂正データだった場合



■対応方法
ログファイルに出力された“DBデータ”と“受信データ”の「自由使用欄カナ」の値をご確認の上、それぞれ以下のご対応をお願い致します。

●パターン1　:“DBデータ”の「自由使用欄カナ」が[E]から始まる値（例：E16、E04E06）、かつ“受信データ”の「自由使用欄カナ」が空欄の場合

例：[重複]DBデータ：受信日 = [2013/06/02 13:32:10]/請求取引先コード = [11111]/取引番号 = [1234567]/自由使用欄カナ = [E04E06]/・・・・・・・
[重複]受信データ：受信日 = [2013/06/03 10:15:45]/請求取引先コード = [11111]/取引番号 = [1234567]/自由使用欄カナ = []/・・・・・・・

対応方法：
“受信データ”の内容に従い請求予定作成画面の「EDI外請求」で請求データを作成してください。（請求時に請求対象としてください。）
※“DBデータ”の内容でEDI請求データが自動作成されますが、左記データは請求対象から外してください。（2重請求となってしまいます。）

●パターン2　:“DBデータ”の「自由使用欄カナ」が空欄、かつ“受信データ”の「自由使用欄カナ」が空欄

例：[重複]DBデータ：受信日 = [2013/06/02 13:32:10]/請求取引先コード = [11111]/取引番号 = [1234567]/自由使用欄カナ = []/・・・・・・・
[重複]受信データ：受信日 = [2013/06/03 10:15:45]/請求取引先コード = [11111]/取引番号 = [1234567]/自由使用欄カナ = []/・・・・・・・

対応方法：
“DBデータ”と“受信データ”のどちらが正しいデータなのかイオン様にご確認の上、正しいデータを用いて請求データを作成ください。

①“DBデータ”の内容が正しいデータの場合
“DBデータ”の請求データはiTERANにてEDI請求データとして自動作成されますので、重複した“受信データ”は無視して頂いて構いません。

②“受信データ”の内容が正しいデータの場合
“受信データ”に従い請求予定作成画面の「EDI外請求」で請求データを作成してください。（請求時に請求対象としてください。）
※“DBデータ”でEDI請求データが自動作成されますが、左記データは請求対象から外してください。（2重請求となってしまいます。）

●その他パターン
上記パターン以外の場合、または不明点が存在する場合はサポートデスクまでご連絡をお願い致します。

サポートデスク（TERAN-CSD）　：　0120-004-626